



公共施設を技術で支え、 倉敷のまちづくりに関わっています。

公共設備課 電気技術職

令和6年度入庁

現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください

公共設備課では、市内の学校や公民館、公園施設、福祉施設などで電気・機械設備の新築・改修工事を行います。近年、電気設備係では、照明器具のLED化を進め、省エネ化を通じてゼロカーボンシティの実現を推進しています。担当業務は、工事を発注するための図面作成、積算、そして工事の進捗や品質を監督する施工監理です。

担当業務で達成できて、嬉しかった業務や、大変だった業務等を教えてください

施工監理では、図面通りに施工が進まないことが多々あります。1年目では知識も少なく、上司に教えてもらいながら現場に合わせた施工を進めていました。施工監理の経験を積む中で、主体的に施工を進められた時は、自身の成長を感じることができ、嬉しかったです。

倉敷市職員としてやりがいを教えてください

倉敷市は公共施設の数が多いため、前職に比べて担当する工事の数が増えました。そのため、様々な施設管理者や施工業者と関わることも増え、一つひとつの工事で毎回異なる経験ができています。また、学校での工事が完成した際に先生方から感謝の言葉をいただき、役に立っていることを実感できる点にやりがいを感じています。



採用試験の対策はどうしましたか？

試験区分：電気技術職

試験には、公務員試験としての教養試験や専門試験はなく、適性検査のみであったため、面接や集団討論への対策に注力しました。具体的な対策としては、倉敷市のホームページや新聞から市の基本的な情報や時事ネタなどを集め、自分の言葉で伝えられるように考えをまとめて試験に臨みました。



前職とのギャップで戸惑うことはありますか？

前職でも公共施設の工事に携わっていましたが、倉敷市では工事の設計や施工監理において独自マニュアルが多いため、初めは戸惑いました。しかし、経験をしていく中で分からない点があればマニュアルに則って進めることができると分かり、2年目の現在は業務を効率的に行うことができています。

就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします

入庁前は、仕事に対して不安に思うことがたくさんあると思います。倉敷市では同じ電気技術職として働いている人が多く、先輩や上司に相談しやすい体制づくりができているため、安心して仕事に臨むことができています。